

## 第 224 号 内容紹介

### 1, 奴隷制の罪を認めるか／ジャマイカ政府が英国王に請願提出

大西洋奴隷貿易の責任と賠償の要求に取り組むカリブ共同体諸国。運動を主導するジャマイカが先ごろ提出した請願をうけ、チャールズ国王は枢密院の司法委員会に付託した。運動は新たな一步を画した。

### 2、馮建三「金門モデルかウクライナ・モデルか」

中国本土との交流を通じた対話の道か、米戦略に沿った対中強硬と対立の道か。兩岸関係と世界の未来の 2 つの可能性を論じる。

台湾識者の論考。

資料：中華民国憲法から

### 3, J・カバナス「第2列島線戦略への転換を提言」

米国の核心的利益を守るためには対中軍事衝突のリスクをさけ、日本や韓国、台湾への防衛誓約を見直して米軍基地を縮小し、グアムからマリアナ、マーシャルに伸びる線まで後退すべきだと、米軍事専門家の提案。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます（[aala\\_news の編集日記 \(livedoor.jp\)](https://aala-news.livedoor.jp/)） なお紹介している論考は学習資料であり、内容の全部も一部も日本 AALA の見解や立場を反映したものではありません。